

彦根城 (滋賀県)

天守を建てた年：1622年



琵琶湖のそばに立つ城。天守は、関ヶ原の戦い(1600年)の後に使われなくなった大津城から移築したとされる。徳川幕府の有力大名である井伊家が城主だ。

丸岡城 (福井県)

天守を建てた年：1628年



大蛇が霧を吹いて城をかくしたという伝説があり、「龍が城」とも呼ばれる。戦国時代に城が築かれ、江戸時代に現在の天守ができた。明治時代になり、天守以外は解体された。

備中松山城 (岡山県)

天守を建てた年：1683年



現存天守のなかで唯一、平地でなく山中に築かれた城。標高430mに天守があり、気候条件が合えば雲海に浮かぶ姿が見られる。「天空の山城」と呼ばれる。

姫路城 (兵庫県)

天守を建てた年：1601年



現存天守のなかでも最大の建物で、天守の高さは31.5m。内部は地上6階、地下1階の構造だ。天守台(石垣の部分)の高さが14.85m、しかも小山の上に立つため、さらに大きく見える。壁から屋根まで、しっくい白く塗り固めた姿から「白鷺城」とも呼ばれる。「白鷺」は「しらさぎ」とも読み、白いサギ(水鳥)のこと。「白鷺城」と呼ぶこともある。

かつ世界遺産!!

国史

穴から敵を狙い撃ち

城壁に穴をあけた「狭間」。ここから鉄砲や弓で外の敵を攻撃した。城を見守るときは、こんな設備にも注目しよう!

本物の歴史を訪ねよう

現存天守12

江戸時代までに建てられた姿を保つ天守は、全国に12基だけ!

調査隊

宇和島城 (愛媛県)

天守を建てた年：1666年?



1614年に伊達政宗の長男・秀宗がこの領地を与えられて以来、伊達家が城主を務めた。現存天守は、秀宗の子・宗利が改修したときの姿をとめている。

松山城 (愛媛県)

天守を建てた年：1854年



もとの天守は、1784年に落雷で焼け落ちてしまった。現存天守は、幕末の1854年に再建されたもの。日本式の城の建築物として、最も新しいものだ。

犬山城 (愛知県)

天守を建てた年：1601年?



室町時代に織田信長の叔父・織田信康が築いたのが最初。江戸時代になり、城主となった成瀬正成が天守の増築や改修を行い、1620年に現在の姿になった。その後2004年までは、成瀬家の子孫が城を所有していた。



松本城 (長野県)

天守を建てた年：1597年?



徳川家康の家臣をやめて豊臣秀吉に仕えた石川数正と豊子の康長が、現在の天守を完成させた。外壁は黒く塗るしを塗った板でおおわれ、黒く輝く姿が印象的だ。

松江城 (島根県)

天守を建てた年：1611年



宍道湖のそばに立つ城。明治時代になり、城内の建物はすべて解体されることに決まったが、地元の有志が築き、天守を買い取り、保存されることになった。

高知城 (高知県)

天守を建てた年：1749年



1727年の大火事で、城のほとんどが焼失したが、土佐国を治める重要な城なので、その2年後から再建が始まった。現存天守はそのとき再建されたもの。

丸亀城 (香川県)

天守を建てた年：1660年



城は国に1つだけとした徳川幕府の定めで、廃城となるが、1641年に丸亀藩ができた。城の改修が始まる。現存天守は、「櫓」という名目で建造されたものだ。

弘前城 (青森県)

天守を建てた年：1810年



江戸時代の初めに建てられた天守は、雷で失われた。その後、200年近く天守はなかったが、江戸時代後期に藩主の津軽家が、幕府から「櫓」の新築を認められ、名前は「櫓」だが、事実上の天守だ。

なぜ12基しか残っていないの?

「江戸時代が終わると、明治政府が1873年に、全国の城を廃止した。そのときに、政府の指示によって、ほとんどの城が解体された。残った天守は、むしる特別扱いといえるけど、世界大戦の際、アメリカ軍の空襲によって多くが焼失してしまいましたが、残った天守は、12基だけが残ったのです。」小和田先生

日本らしい風景として、全国各地で人気のお城。本来「城」とは、敵の攻撃を防ぐ軍事施設。多くの人が思い浮かべるあの建物は、「天守」が正しい名前だ。城の中心部に立つ最も高い建物で、遠くまで見張るための設備なんだ。日本城郭協会の理事長で静岡大学名誉教授の小和田哲男先生に、天守のことを教えてもらった。「戦国時代に織田信長が築いた安土城に、最初の天守(安土城は「天主」がつくられました。天守の終わりは特定できませんが、明暦の大火(1657年)で江戸城天守が焼け、そのあと再建されなかったことから、他、建れなかったこと、急速に建てられなくなりまして。その間およそ80年。天守がさかんにつくられた期間は、意外に短い。江戸時代までに建造され、今も残る天守を「現存天守」といい、全国に12基しかない。今回はそのすべてを紹介!」「見学するときは、天守以外の建物や石垣などにも注目するといえますよ」と小和田先生。ぜひ実際に訪ねて歴史を感じてみよう!

天守っぽい城ではない“城”

全国各地には、天守を模した「お城ふうの建物」もある。自治体が運営する博物館などが、歴史資料があることを示すデザインとして採用する例も。……まじらわしいね。



静岡県にある「熱海城」。名前から本物っぽいけれど、ここに城があった事実はない。観光施設としてはとても人気があるよ。

模倣天守

天守がなかった城跡や、天守が本当に存在したのか、どんな形なのかなど不明なまま、想像や推測で建てた天守。



▲戦国大名の黒田如水(信長)が築いた城だけれど、江戸時代の絵には天守は描かれず、存在は不明だ。1964年に建てた天守は、歴史資料館として活用。

復興天守

かつて天守があった場所に再建したけれど、資料が少なかったために規模やデザインを推定して建造した天守。



▲大阪夏の陣(1615年)で焼失した豊臣秀吉時代の天守を、絵画などを参考に1931年に再建。鉄筋コンクリート製で、内部は博物館になっている。

復元天守

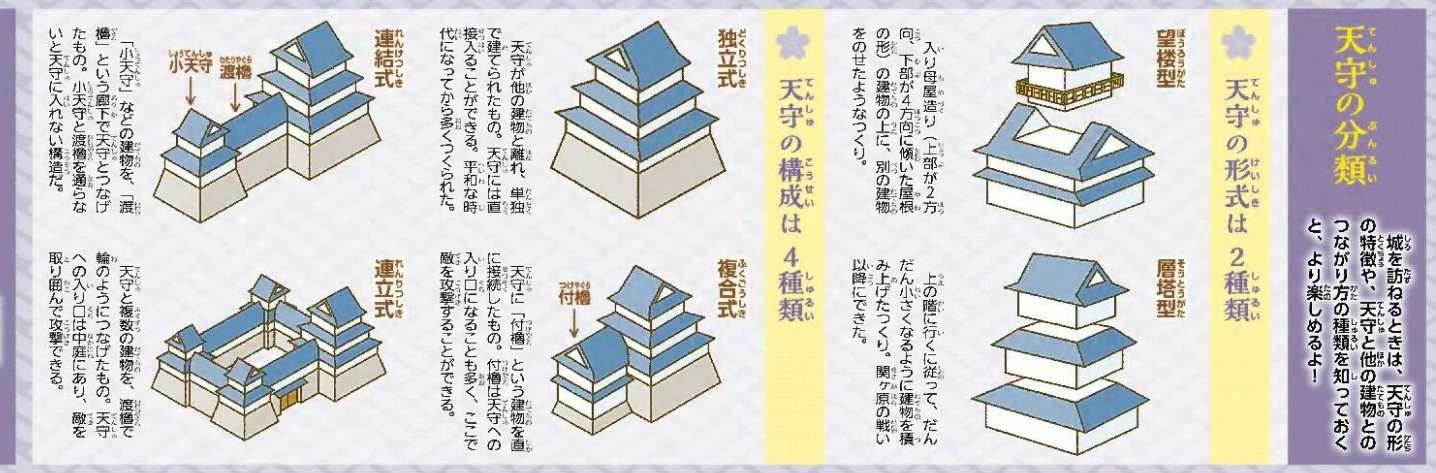
かつて天守があった場所に、絵画や図面などの資料をもとに、当時の外観や内装を忠実に再現した天守。



▲元の天守は1868年、戊辰戦争で新政府軍に攻められ焼失した。その後、城跡は公園や野球場などに利用されていたが、1991年に木造で復元された。

昭和以降の天守

現存天守でないものは、昭和以降に建てられた天守だ。どんな種類があるのかな?



天守の形式は4種類

独立式

連結式

複合式

望楼型

層塔型

天守の分類

城を訪ねるときは、天守の形の特徴や、天守と他の建物とのつながりや方角の種類を知っておくと、より楽しめるよ!